

人の温度と地球の温度 —私たちは地球温暖化の暑さに適応できるか?—

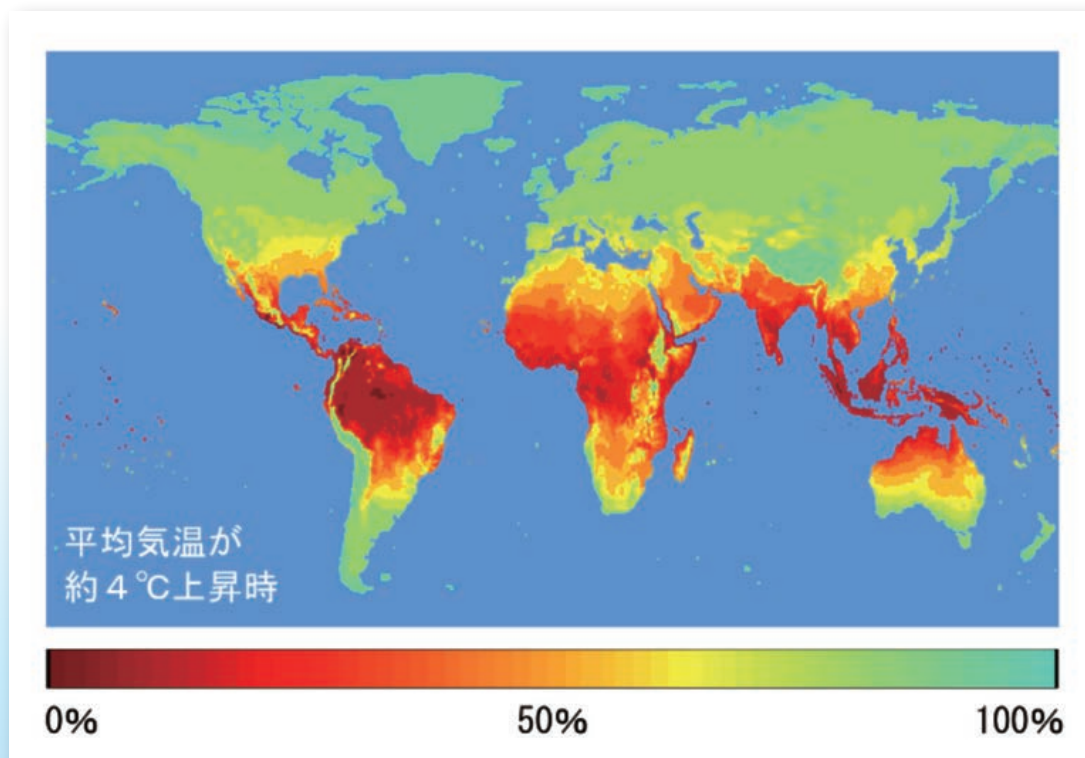
社会環境システム研究センター 高倉 潤也

地球温暖化と聞いても、まだ、どこか遠い世界の話と思っている方は少なくないと思います。しかし、地球温暖化が進めば、私たち自身の体や生活にも直接影響を与える可能性があります。たとえば、気温が上昇すると単に暑いと感じるだけでなく、体温を適切な範囲に保つことが難しくなり、熱中症などにかかる危険性が高まります。昨年（2018年）の日本の猛暑は記憶に新しいと思いますが、地球温暖化が進めば、昨年のような、あるいは、さらに厳しい猛暑がより頻繁に起こるようになると予想されています。



熱中症を避けるためには、暑いときにはエアコンの効いた室内でじっとしている、というのは賢い選択肢です。一方で、暑いからといって世界中の人たちが外で活動することをやめてしまったら、世の中は立ちゆかなくなります。地球温暖化が進んでしまった世界で生きていくためには、私たちの生活スタイルや社会のあり方を変えることが必要になります。これは、地球温暖化に対する「適応」と呼ばれ、地球温暖化そのものを防ぐ対策である「緩和」と並んで、その必要性が重視されるようになってきています。しかし、地球温暖化によって更に厳しくなる暑さに対して、具体的にはどのように適応すればよいのでしょうか？

発表者は、熱中症を防ぐという観点での地球温暖化に対する適応について研究を行ってきました。本講演では、その研究内容について紹介し、私たちが地球温暖化にどのように向き合っていけばよいかについて考えたいと思います。



日中に熱中症の危険を避けて安全に活動できる時間の割合